

ひとのCLOSE * UP ちから



SPROUT Dance Studio (大牟田市) でチームでも個人でも大活躍中のダンサーがいます。ダンスアタック全国大会で優勝した高橋衡平さん(左)とDANCE MAX JAPAN 2015 全国大会で優勝した高巢来華さん(右)です。



チーム力で より良いパフォーマンスを

「大好きなダンスを通して、多くの人と関わりを持つことがうれしいですね」小学3年生のとき、ダンスチーム Mischief BOYS を結成。以来、高橋さんは踊るときも遊ぶときもチームメイトと共に過ごしてきました。「僕たちのダンスパフォーマンスはチーム力のたまものです。互いを信頼しているので、遠慮なく改善点を指摘し合えるんです」。

小学5年生のころ、足を痛め、チームで出場するはずだった大会を諦めなければならず、悔しい思いをしました。半年間の休養の後、チームに戻っても、なかなか感を取り戻せず、はがゆかったといいます。しかし、「追いつけなくて当たり前。ここからがスタート」という恩師の言葉と仲間の支えでつらい時期を乗り越えることができました。「将来は父の造園業を手伝い、踊れる造園師になりたい」ダンスを愛する少年の夢は続きます。



荒尾第四中学校 2年生、八幡台1丁目在住。
専門はポップとロック。趣味はゲーム



お客さんに 喜んでもらえるとうれしい

「練習通りに完璧に踊れるとうれしいです。でも、お客さんに喜んでもらえるのもっとうれしい！」4歳からダンスを始め、楽しくダンスに打ち込むうちにテレビにも出演する人気ダンサーに成長した高巢さん。売れっ子になった今でも、走り込みなどの基礎体力づくりを大切にしています。大好きな一輪車を乗りこなすのに一年もかかったという彼女の根気強く努力する姿勢はダンスにも生かされているようです。「今までは元気なダンスを披露してきましたが、最近は大人っぽいダンスにも挑戦中です。戸惑うこともあります。一生懸命、年上の仲間の背中を追いかけたいです」。

高巢さんを指導する三上沙由希先生は「常に冷静で頭で考えて踊る子。同年代の子より一歩進んでいる」と目を細めます。「将来は沙由希先生のようなダンスの先生になりたい」と弾ける笑顔を見せていました。



荒尾第一小学校 4年生、市屋在住。専門はヒップホップ。趣味は一輪車

1_ダンスチーム「Mischief BOYS」。左端が高橋さん 2_ダンスチーム「Sooooo Funny!!」。左から3番目が高巢さん